

質問事項		選択式 回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		
1-2	今後の経済のリスク要因(第1回時点と比較して変化がある場合)、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。	—	
経済再生と両立する財政健全化			
2	財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。	—	財政健全化に向けては、大胆な歳出削減を行い、健全化への道筋をつけていく必要があると考える。もちろん、経済成長による歳入増も積極的に目指す必要はあるが、期待する程には税収が伸びなかった場合でも健全化が達成できるような、保守的な目標設定が必要である。また、歳出削減にあたっては、長期的に実行可能なプランを立て、それを着実に実行していく姿勢を示すことが重要と思われる。具体的には、社会保障関連の支出について、上記のような姿勢に基づき確実な削減プランを作成する必要がある。その際には、当然できるだけ無駄を省いた効率的な支出が実現されるよう工夫する必要もある。

質問事項		選択式 回答	記述式回答
女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方			
3-1	どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。	—	今後は、働きたいと考える女性の意思が妨げられないような制度設計が求められる。そのためには、上記参考例として挙げられているような妻の収入が一定額を超えると新たな負担や不利益が発生するような制度はできるだけ、なくしていく必要がある。ただし、控除や手当をすべて一気になくしてしまうと、配偶者に収入がない家計に大きなマイナスになるというデメリットもある。そのため、この問題に対しては、多少時間をかけて段階的になくしていくという方策をとることが考えられる。働き場所を得るのも急にはなかなか難しいことを考えると、段階的にしかし確実に制度変更をしていくことが重要と思われる。
3-2	女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項(女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等)について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。	—	女性の働き方に中立的な制度を考えるにあたっては、単に女性だけでなく高齢者や男性も含めて、様々な立場にいる人が多様な働き方をできるように、積極的に制度や慣行を改めていく必要がある。現状では、女性のほうが出産や育児、介護等でキャリアを中断したりフルタイムで働くことが難しくなる場合が多く、また、そうすると能力に見合った十分な働き場所が得られないケースも少なくない。しかし、それは社会的にみても大きな損失であり、今後は、キャリアを中断する必要が生じたりしたり、フルタイムで働くことが難しくても不利益を被らずに働けるような、多様な働き方を積極的に認めるような制度や慣行にしていける必要がある。